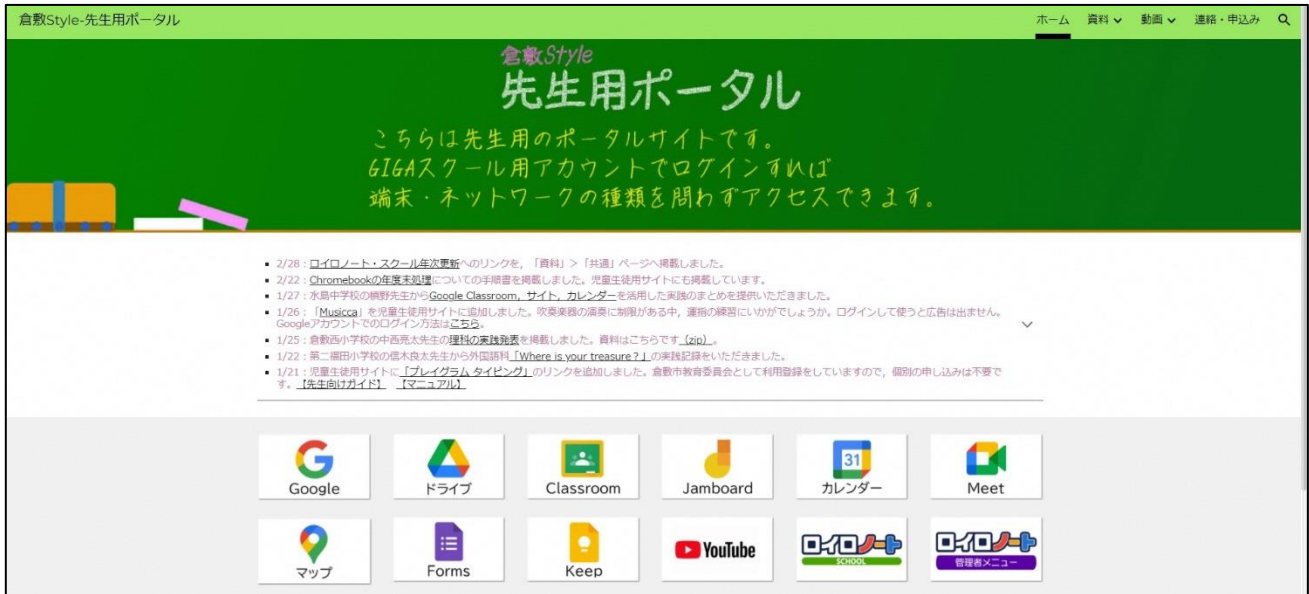


倉敷市教育委員会が実施した校務のDX事例紹介

～倉敷市立小中学校の教職員を対象としたポータルサイトについて～



倉敷市立学校に勤務する教職員が Google アカウントでログインすると最初に表示される画面

ポータルサイト名：倉敷 Style - 先生用ポータル

対象：倉敷市立学校に勤務する教職員に限定公開

(Google アカウントでログインしたときに最初に表示される。)

特徴

- ・ 学校教職員向けのリンク集や情報サイトとして活用
- ・ Google ドライブを活用して、校種・教科ごとに指導案等を共有
- ・ 倉敷情報学習センターへの連絡を一元化（機器の故障に関する修理依頼、ICT 支援員への業務依頼等）
- ・ Google アプリを活用した授業や、プログラミング等の授業の動画を公開



リンク集を作成し、授業に役立つ情報や教材を紹介

「倉敷 Style - 先生用ポータル」を作成、運用している 倉敷市教育委員会の担当者へのインタビュー

Q. なぜ、ポータルサイトを作ろうと思ったのですか。

A. 指導案や授業のための資料等を学校間を超えて簡単に共有できる仕組みを作りたかったことが大きな理由です。以前は、CMS（コンテンツマネジメントシステム）で、ポータルサイトを作成していましたが、倉敷市立学校に勤務する教職員に限定して公開する設定ができませんでした。しかし、Google サイトを活用すると、限定公開の設定が簡単にできるということが分かったことも、サイトを作成した理由の一つです。

Q. ポータルサイトを作成したことで、管内の教職員にとってどのような働き方改革につながりましたか。

A. クラウド上で、各校種、各教科、各単元ごとの指導案や授業に役立つ教材等を共有することで、教材研究が効率的にできるようになりました。また、「プログラミング」や「食育」等の動画は、そのまま授業でも活用でき、利便性が高いと好評です。

さらに、「年度末に実施すべき端末やアカウントの更新作業」等、先生方に適宜伝えたいメッセージをトップ画面に表示できるので、スピード感のある情報の伝達にも有効です。



Google の共有ドライブで指導案や資料を共有

Q. 先生方からはどのような反応がありましたか。

A. 「クラウド上で、必要な情報に効率的にアクセスできるので、研究授業等で教材研究をする際、より多くの先行事例に触れることができるようになった。」「倉敷市内の学校で、どのような研修資料を使い、どのような校内研究が実施されているかが分かり、参考になる。」「指導案や ICT 機器のマニュアル、情報学習センターへの問い合わせ窓口等、情報が一元管理されており、利便性が高い。」という声をお聞きしています。

Q. ポータルサイトは、「作成、公開して終了」ではなく、その後の運用も重要なポイントです。運用業務はだれが、どのように行っているのですか。

A. 主な管理運用業務は、倉敷情報学習センターの担当が行っています。指導案や校内研究で使用した資料等の共有については、各校に権限を付与しており、学校からオンラインで資料をアップロードしていただいています。